



進路だより

平成29年12月22日

第8号

岡山県立岡山支援学校進路指導係

HPアドレス <http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

学校では、児童生徒の自立と社会参加をめざし、「社会との関係性・関連性」を意識して、社会見学や宿泊学習、文化祭等の行事をはじめ日々の授業を考えています。一つ一つの学習の積み重ねが社会で生きていくための力につながり、よりよく生きていけるよう自ら考え、取り組み、解決していこうとする力につながります。

今回は中学部の「キャリア教育」の視点を取り入れた社会見学の取り組みを紹介します。

★社会見学（Ⅲ-2グループ）

公共の施設を利用するというねらいで、幸町図書館に行き、図書館を見学したり、教師と一緒に気に入った本を見つけて借りたりしました。

事前学習では、学校の図書室で本を選び、職員役の教師に本と貸出カードを手渡して借りる、という学習を数回行いました。

当日は、児童図書コーナーで、自分の好きな絵や色合いから借りたい本を一冊ずつ選び、事前学習の成果を発揮して、図書館の職員さんに本と貸出カードを手渡して借りることができました。職員さんの目を見ながら渡したり、教師と一緒に「お願いします。」と言いながら渡したりすることもできました。

借りてきた本は、月に一度学校に来ている移動図書館を利用して返却しました。幸町図書館で本を借りたことをきっかけに、毎月、移動図書館で新しい本を借り、借りた本を休み時間に読むなど、生活の幅も広がりました。

将来を考え、学習した力をいろいろな場面で発揮したり、自分の好きなものを選び伝えたりする力を大切にしていきたいと考えています。



★社会見学（Ⅲ-3グループ）

公共の施設でいつもと違う雰囲気を感じながら落ち着いて過ごすというねらいで、高島公民館へ行き、公民館活動をされている地域の方々6名に、傘踊りと鈴の踊りを披露していただきました。

元気のいい音楽に合わせて、シャンシャン鳴る鈴の音を聴いたり、くるくる回るきれいな傘を見たりしました。また、曲ごとに衣装替えもあり、見て楽しい、聴いて楽しい、ステージでした。

社会見学を通して、地域の方と交流する体験は、人との関わりを広げる力を高めることにつながると考えています。



★社会見学（2年生のⅠ類型生徒）

9月20日に吉備ワークホームにあるアトリエ夢工房へ職場見学・体験に行きました。2年生は農業、軽作業（ストラップ作り）に取り組みました。この日に向けて、自分の適性や就きたい職業について学習を重ねました。また、職場でのマナーを学習し、箸入れ・ボルトはずしの作業にも挑戦しました。今回は、「本物の職場」で働くということで、仕事をする大変さを味わうとともに、あこがれの気持ちを抱いたり一緒に働くことへの喜びを感じたりしたようです。「お客様により製品を届けたい」職場の方のそんな言葉が胸に響き、丁寧に正確に作業することの大切さに気付いた生徒もいました。

